

さめぶちたまりバー News【創刊号】

編集・発行 さめぶちたまりバーの会（仮称）準備会

発行日 平成20年7月31日

平成20年度 第1回「さめぶちたまりバー自然観察会」を開催しました。

- ・日時：平成20年7月3日（木） 10：00～14：00
- ・場所：さめぶちたまりバー、赤平交流センター「みらい」

当日は、準備会から7名が出席しました。10時からの自然観察会は、昨年度のワーキングで作成した「木の名札」の設置やガイドブック作成のための写真を撮影しました。また、同時に散策路の危険箇所等についても確認しました。午後は、事務局からこれまでの整備実施状況やワーキングでの活動などについて報告がなされました。続いて、自然観察会や整備状況などの意見交換を行い、今後の整備・活動に関する様々な意見が出されました。

発刊のあいさつ

今回、「さめぶちたまりバーの会（仮称）準備会」は、滝川河川事務所の協力を得て『さめぶちたまりバーNews』を発刊することにしました。

このNewsレターでは、「さめぶちたまりバー」を中心とした活動の情報を、地域の人々に発信していきたいと思っています。情報を発信することで地域の皆さんの要望などを受け入れやすくすると共に、情報を皆さんと共有することにより空知川を軸とした各市民団体の活動の輪を広げ、地域の一層の連携を図って地域の活性化に寄与していきたいと考えております。皆様のご支援、ご協力を宜しくお願いします。



▲さめぶちたまりバー



さめぶちたまりバーとは・・・

赤平、滝川、砂川の3市が交わる場所にある空知川の鮫淵（旧川）周辺で、水に親しめる川辺の「たまり場」として流域の住民に活用してほしいとの願いから、この場所の愛称を「さめぶちたまりバー」と命名しました。

この場所には、昔大きなチョウザメが住んでいたことから鮫淵と呼ばれています。



▲ガイドブックを作成するための写真を撮影したり、草本の名前を記録しました



▲昨年作った「木の名札」を付けました



▲ガイドによる樹木の説明を聞きました



▲タモ網で捕った魚を観察しました

参加者の主な意見

◆散策路などの整備について

- ・散策路のぬかるんでいたところがあったが、木道にしてはどうか。
- ・散策路で崖のようなところがあったが、何か対策をすべきではないか。
- ・草刈りした水際の崖が近いところは危険なので看板などを設置してはどうか。



▲意見交換会における活発な討議の様子

- ・奈江川が運動靴で渡れないので飛石などで渡れるようにしてはどうか。
- ・旧川の水を引いて、きれいにする事は出来ないだろうか。
- ・駐車場やひらけた場所から空知川がみえるようにしてはどうか。
- ・あまりお金を掛けずに対策してほしい。
- ・行くたびに新しい発見がある場所。

◆その他

- ・滝川市では「そらぶちキッズキャンプ(難病の子供達が自由に遊べるキャンプ施設)」を支援している。さめぶちたまりバーのような自然フィールドをどのように活用できるか考えていきたい。
- ・この場所で5月に探鳥会を開催した。小さな子供も含め楽しむことが出来た。クマゲラの採餌跡を見られるのは珍しい。今後とも利用していきたい。
- ・奈江川ではありのままの自然をみせたいと思う。造形的なものではなく、自然を残した状態で工夫してほしい。
- ・地域の歴史や自然環境などを含めて勉強会を行っていきたい。
- ・今後は、準備会として集まって議論し、正式な会の設立に向けて進めていきたい。(北谷座長)

お知らせ

準備会では、来る8月5日(火)に「さめぶちたまりバー」において親子水辺のふれあい体験会を開催する予定です。また、準備会では「さめぶちたまりバーの会(仮称)」で活動してくれる人を募集しております。

ご意見やお問い合わせは、
『事務局』
石狩川開発建設部 滝川河川事務所
〒073-1103 樺戸郡新十津川町字中央 89
TEL 0125(76)2211 FAX 0125(76)2181
まで、気軽にお寄せ下さい。